

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社第73期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の市場環境は、一昨年後半からの世界規模でのIT不況、中国メーカーの台頭、さらに需給のアンバランスによる価格競争の激化等によりかつてない厳しい状況となり、当社におきましてもさらに厳しい経営判断を求められることとなりました。

このようななかで当社は、フェライト事業の再生に向け、上海FDK（SHANGHAI FDK CORPORATION）を中心とする事業運営体制を構築するとともに、国内の山陽・富士見・大須賀の3工場の生産休止、国内人員の約25%にあたる447名を削減する等の事業構造改革を実施いたしました。IT不況の影響は大きく、売上高は前期比19.0%減の845億81百万円、経常損失は24億16百万円のやむなきに至り、事業構造改革費用を特別損失に計上いたしました結果、当期損失は115億42百万円となりました。

株主の皆様にはこのような不本意な結果になりましたことを深くお詫び申し上げます。

今期の業績につきましては、大規模な構造改革を行ったにもかかわらず、依然として厳しい市場環境が続くことから、現時点では、売上高850億円、営業利益13億円、当期損失10億円と予想しており、こうした厳しい環境に対応すべく、さらなる事業全体の合理化、費用の圧縮を図るとともに、コアビジネスへの経営資源の集中、中国国内での販売の強化、車載部品市場への進出等の施策により業績の向上を図ってまいります。

今後、これらの施策をスピードをあげて実行するとともに足元の深刻な状況を厳しく認識し、強い危機感をもってこの難局に対処していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月
代表取締役社長 鈴木 惟司

